

# 学友会報

発行  
兵庫県立大学 学友会  
神戸市西区学園西町8丁目2-1  
電話 078-793-5081



## 相互交流と母校への愛着を

～創刊に寄せて～

兵庫県立大学学友会 会長 瀧川博司

輝かしい歴史と伝統を誇った神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学を統合した兵庫県立大学は、設立後10年が経ち着実に成果を上げてきました。私ども旧大学の卒業生は、それぞれの大学あるいは学部の同窓会として活動していますが、同時にその垣根を越えた相互交流を推進するとともに、その活動の輪を教職員などにも広げ、同窓生の活躍や母校への愛着を深めてその一層の発展に寄与するため、兵庫県立大学学友会を設立し、活動をしてきました。

このたび更なる発展を目指し、その活動を皆様にお知らせするため広報誌「学友会報」を発行する運びになりました。つきましては、ご愛読賜り、皆様方のご意見・ご要望をお寄せいただき、本会の発展にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第8回 キャンパスツアー 看護学部でAED実習や血管測定 川重のオートバイ工場見学も

平成27年6月25日、恒例のキャンパスツアーを行いました。今回は明石看護キャンパスと川崎重工業株式会社の明石工場・西神戸工場を訪問しました。当初の予定ではバス1台で定員50人の募集をしましたが、希望者が多く90人の参加者によりバス2台で行きました。

集合場所のJR明石駅からバスで5分、兵庫県がんセンターの隣にある明石看護キャンパスの新緑が一行を迎えてくれました。看護学部長の内布敦子先生から「大学の4分の1に看護系の学部があるが、その中でもリーダーシップを発揮している」などと学部の紹介がありました。また地域ケア開発研究所では1ヶ月単位で健康チェックやいろいろな無料相談を行っていることが紹介されました。

引き続き行われた看護実習は、①骨密度測定・体組織組成測定・血管測定、②AEDの高機能人体模型による実習、③④高機能人体模型による看護体験の4グループに分かれて、それぞれの先生方の指導のもとに日常ではなかなかできない体験をしました。高機

能人体模型は、呼吸をはじめ人体の動きを再現するもので、聴診器で心臓の鼓動などを聴いた参加者は、医学の発達もさることながら、周辺の技術もそれに応じて進歩していることを実感しました、と話していました。

昼食はキャンパスの近隣の蛸老亭でとりました。明石といえば明石焼き（地元では玉子焼き）、焼き込みご飯のお膳に明石焼きがついていました。

### テストドライバーに感嘆

川崎重工業の明石工場のオートバイ工場では生産現場の通路を通り、間近に作業を見ることができ、日常では味わえない産業の最前線を感じることができました。中でも完成したオートバイの走行テストでは、テストドライバ

ーの颯爽とした仕事ぶりに見学者は感嘆した様子でした。

正面玄関の展示ブースには、ジェットエンジンの実物がカバーを取り外した状態で展示されていて、見学者の目を引いていました。



高機能人体模型の心臓の鼓動を聴診器で聞く参加者

西神戸工場のロボット工場では、溶接ロボットが実際の乗用車の車体を溶接するデモ運転がされており、また塗装ロボットは自動車のドアを開いて中を塗装していました。

参加者の中には同伴者が数組おら



れ、さらに学友会の会員同士のカップルも数組あり、お互いに説明し合うほほえましい風景もみられました。



看護学部の紹介をする学部長の内布敦子先生

ジェットエンジンを見学  
(川崎重工にて)

# 100周年ビジョン 世界水準の大学を目指して 基金の寄付募集も目標達成

平成16年4月に神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学の3大学が統合し兵庫県立大学として開学しました。平成26年度は創立10周年にあたり、また神戸商科大学の前身の県立神戸高等商業学校の開学(昭和4年)を本学の「基(もと)」と捉えると創基85周年にあたります。この記念すべき節目の年に、これまでの輝かしい歴史と伝統をつないできた卒業生、保護者、教員等の関係者の皆様に「感謝」の意を表すとともに、本学の一層の「飛躍」を期すため、周年記念事業が展開されました。

平成26年11月24日、神戸ポートピアホテルにて、卒業生や関係企業・団体、大学・県内高校等の学校関係者、一般参加者など約800人が出席し、記念式典が挙行されました。

清原正義理事長兼学長は式辞として「県内に広がるキャンパスを兵庫県全体がキャンパスであると考え、兵庫県政と一体となって発展を続けていき、次の飛躍を期して、グローバル化、教育の質保証、地域への貢献をさらに力強く進めていきたい」と、意気込みを述べました。

瀧川博司兵庫県立大学学友会会長は「県立大学には、教育・研究・地域貢



祝賀会での鏡割りの様子

## 平成27年度 学友会役員

会長	瀧川 博司
副会長	池野 忠司 淡水会会长
	田中 延幸 姫路工業俱楽部 理事長
理事	本西 敏子 ゆりのき会相談役 見田 洋介 理学部同窓会会长 芝田 健輔 けやき会会长 奈良崎大士 悠蒼会会长
	高橋 翔太 学生自治会代表 山内 康弘 大学副理事長 八木 純二 学友会事務局長
監事	岡本 俊二 公認会計士 前田 恵一 姫路工業俱楽部 事務局長
顧問	清原 正義 大学理事長兼学長



て寄附金を原資として「兵庫県立大学学生飛躍基金」を設置し、この基金の活用により兵庫県立大学の一層の飛躍を図るため、学業成績やスポーツ、地域貢献活動等において先頭に立って、兵庫県立大学を牽引していく学生や学生団体を育成・支援します。

## 平成26年度基金授与団体

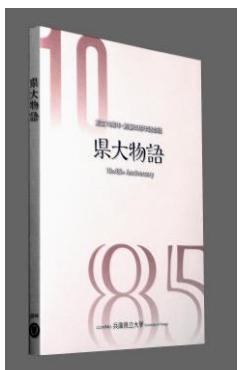
### 優秀部活動等奨励金

- ・体育会姫路支部弓道部
- ・体育会姫路支部剣道部
- ・体育会陸上競技部
- ・体育会姫路支部日本拳法部

### 優秀地域貢献活動奨励金

- ・明舞団地学生まちづくり活動隊
- ・エコ・ヒューマン・ブリッジ
- ・ライフサポートチーム部

## 「県大物語」を発行



県立大学のこれまでの歴史や特色などを広く周知するため、周年記念誌「県大物語」を平成27年2月末に発行しました。主な内容は、基本理念一特色ある大学づくりに向けた主な取り組み、県立大学のあゆみー沿革・略年表による各大学等の歴史、各部局などにおける教育・研究の10年、退職教職員・卒業生からの寄稿、学生によるキャンパスライフ・クラブ・サークル活動の紹介、同窓会・後援会・県立大学生活協同組合の概要、創立10周年・創基85周年記念事業の記録などです。

## 学生飛躍基金を設置

日本、そして世界の中で誇れる大学として、また、これから大学進学を迎える若い世代の皆さんにとって、「入ってみたい大学」にならなければなりません。そこで周年記念事業とし

### 《編集後記》

学友会の会則には、その目的として同窓生・在学生及び教職員の学部を超えて親睦を図り、益々の活躍に資するとともに県立大学の発展を支援することにより社会に貢献する(要約)とあります。学友会が主催するキャンパスめぐりがその大きな方法のひとつで、その内容をホームページではお知らせしていますが、もっと広くお知らせする目的も含んで本誌を発行します。学友会の事務局は大学本部のある神戸商科キャンパスの中にあります。こちらに来られた際には、ぜひ立ち寄ってください。また投稿も歓迎します。(K & A)